

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ペンケース	高	しごと 全学年Ⅰグループ (家政)	溝上京子

<ねらい>

- ・ミシンを正しく使い、手順に沿って丁寧に製品を作ることができる。
- ・製品作りに見通しをもち、作業に最後まで取り組むことができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

布とファスナーを縫い、ペンケースやポーチを作った。

①ファスナーを縫い付ける



②周りを縫う



③裏返す



④返し口を縫って形を整える



完成



縫う位置は、教師が事前に線をひいておいた。
線通りに縫うことができ、きれいな仕上がりとなった。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・自分用の物を先に製作した。生徒達の予想以上により仕上がりとなったため、「プレゼントしたい。」「早く持って帰りたい。」などの感想が聞かれ、製品作りも意欲的に取り組めた。
- ・製品作りは分業で行ったため、すべての工程を1人で進めなかったが、活動に見通しをもち、友達の続きの作業でもスムーズに行うことができた。
- ・チャコペンがすぐに消えてしまうため、直前にしか線を引かず、準備がたいへんだった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・布（表・裏）、ファスナー、糸、（必要に応じて）接着芯
自分用の物は安くなるよう、100均の商品を利用した。
費用は生徒分は300円程度。

